

1 総住宅数について

本県の総住宅数は719,900戸で、昭和23年の調査開始以降一貫して増加している。前回（平成25年）の調査結果と比べると、13,500戸増加し、増加率は1.9%となっている。

表1 総住宅数等

(単位：戸)

	年次	総住宅数	居住世帯のある住宅	居住世帯のない住宅
山口県	平成15年	654,600	569,600	85,000
	20年	691,600	584,100	107,600
	25年	706,400	588,800	117,700
	30年	719,900	591,000	128,800
全国	平成15年	53,890,900	46,862,900	7,027,900
	20年	57,586,000	49,598,300	7,987,600
	25年	60,628,600	52,102,200	8,526,400
	30年	62,407,400	53,616,300	8,791,100

(注) ここで掲げた数値は、標本調査による推計値であるため、10位を四捨五入して100位までを有効数字として表章している。したがって、表中の個々の数字の合計が必ずしも総数とは一致しない。

2 空き家数及び割合について

空き家率は調査開始以降一貫して上昇しており、前回と比べて1.4ポイント上昇の17.6%となっており、空き家率は全国9位となっている（前回12位）。また、空き家のうち、二次的住宅（別荘等）を除いた空き家率は17.3%で全国8位となっている（前回15.6%と同順位）。

表2 空き家率

	年次	空き家数（戸）	空き家率（%）	空き家率前回増減（ポイント）
山口県	平成15年	82,200	12.6	1.5
	20年	104,600	15.1	2.5
	25年	114,400	16.2	1.1
	30年	126,800	17.6	1.4
全国	平成15年	6,593,300	12.2	0.7
	20年	7,567,900	13.1	0.9
	25年	8,195,600	13.5	0.4
	30年	8,488,600	13.6	0.1

【参考】平成30年間の総住宅数と空き家率

昭和63年調査と比べて、平成30年間で総住宅数は27.2%増加し（全国41位）、空き家率は8.1ポイント上昇している（全国3位）。

表3 平成30年間の総住宅数と空き家率

	年次	総住宅数（戸）	空家数（戸）	空き家率（%）
山口県	平成30年	719,900	126,800	17.6
	昭和63年	565,800	53,900	9.5
全国	平成30年	62,407,400	8,488,600	13.6
	昭和63年	42,007,300	3,940,400	9.4

3 住宅の構造について

居住世帯のある住宅のうち、木造住宅（防火木造を含む）の割合は64.4%、鉄筋・鉄骨コンクリート造等の非木造住宅の割合は35.6%となっている。木造住宅の割合は、前回調査では調査開始以来初めて減少から増加に転じたが、平成30年調査では再び減少に転じた（前回より1.0ポイントの低下）。

表4 住宅の構造別割合 (単位：%)

	年次	木造 (防火木造含む)	非木造
山口県	平成15年	66.9	33.1
	20年	64.7	35.3
	25年	65.4	34.6
	30年	64.4	35.6
全国	平成15年	61.4	38.6
	20年	58.9	41.1
	25年	57.8	42.2
	30年	57.0	43.0

4 住宅の建て方について

居住世帯のある住宅のうち、一戸建の割合が67.5%、長屋建が3.2%、共同住宅が29.1%、その他が0.3%となっており、一戸建の割合は前回の調査結果と比べ1.5ポイント低下している。

表5 住宅の建て方別割合 (単位：%)

	年次	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
山口県	平成15年	70.1	4.0	25.5	0.4
	20年	69.1	2.7	27.9	0.3
	25年	69.0	3.0	27.8	0.2
	30年	67.5	3.2	29.1	0.3
全国	平成15年	56.5	3.2	40.0	0.3
	20年	55.3	2.7	41.7	0.3
	25年	54.9	2.5	42.4	0.2
	30年	53.6	2.6	43.6	0.3